

認知症とともに歩むまち

9月は
世界アルツハイマー
月間です

「大和市認知症1万人時代条例」の制定から今年で1年が経過します。市は、認知症の人やその家族などと価値観や体験を共有しながら、認知症施策の一層の推進を図り、引き続き認知症とともに歩むまちづくりを目指します。

☎保健福祉センター人生100年推進課認知症施策推進係 ☎(260)5612 FAX(262)0999

認知症は社会で支えるものです

認知症は、誰もがなり得るものです。しかし、認知症になって生活上の困難は生じても、その人自身が別の人に変ってしまうものではありません。家族をはじめ日常生活に関わるすべての人が認知症についての理解を深め、支えていくことで、認知症の人が住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくことができます。

認知症サポーターが累計2万人を超えました

認知症の人やその家族が自分らしく暮らしていくためには、身近な人をはじめとして、地域全体で支援していくことが大切です。

市は、認知症についての正しい知識を幅広い世代に普及させるため、認知症サポーター養成講座と認知症キッズサポーター養成講座を開催しています。講座では、認知症の原因や症状などの基礎的な知識や、認知症の人への接し方、介護者の気持ちなど認知症に関わるさまざまなことについて学ぶことができます。

6月末時点の累計受講者数は2万60人となり、多くの方がこの講座を受講しています。



あなたの身近な人、こんなことはありませんか

同じ物を何度も買ってしまったり、同じ話をすぐに繰り返す

▶ 体験や行為を記憶しづらくなっているのかもしれない

会話の中で言葉がスムーズに出てこない

▶ 思いを言葉に組み立てることが難しいのかもしれない

季節や時間帯に応じた服が選べない

▶ 季節感や時間の感覚など、状況の把握が難しいのかもしれない

インタビュー

認知症とともに暮らして

● 市内在住のAさん、Bさん夫妻はともに80歳代。もの忘れが多くなる、元気がなくなるなど、妻のAさんの異変に夫のBさんが気がついたのは4年前。Bさんが毎日のようすを記録し、医療機関に相談をした結果、Aさんはアルツハイマー型の認知症であることがわかりました。

● 認知症の診断を受けて

Bさん 妻が認知症と診断されてから、病気について勉強しています。学んだことを行動に移していきました。病気が明るくなっていききました。病気が待ってくれません。周りの人の対応がすごく大事だと思っています。

Aさん 最初は（認知症を受け入れることに対して）気が進みませんでした。でも、夫が認知症について調べてくれる姿を見て、自分は何をしているのだろうかと思ひ、だんだんいろいろなことをしたいと思えるようになりました。

● 毎日の買い物は二人で協力

Bさん 毎日一緒に買い物に行きます。妻一人では家にある物を何度も買ってしまふので、売り場に必要な物の指示は私が、品物を選ぶことと支払いが妻がやるように分担しています。

● 好きなものは変わらない

Aさん 昔から音楽に合わせて体を動かすこと、特に盆踊りが大好きです。着物を着て、音楽が流れてくるとわくわくします。最近盆踊りの場が少なくなってしまうあまりできていないので、地域の人たちとまた踊りたいです。

● 生活をする上で感じること

Aさん 長生きをして、いろいろなことをやり尽くしてきたので、後ろ髪を引かれるような思いはありません。今の生活が落ち着いていて、とてもありがたいと思っています。

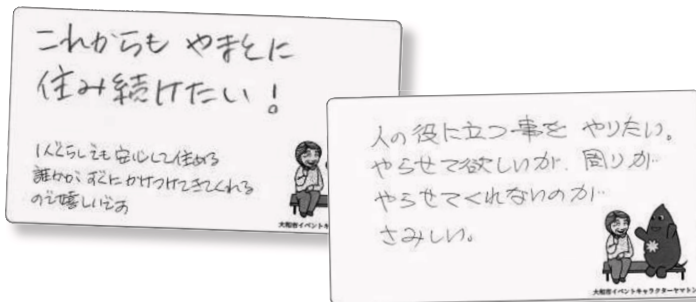
Bさん くよくよしても仕方ないので、一日一日をどうやって楽しむのか考えて過ごしています。認知症を悲劇としてではなく、前向きに考えるようにしています。

● 怖がらないで早めに相談を

Bさん 妻はもの忘れがあるくらいで、ほかの目立った症状はほとんどありませんでした。認知症は治療をすれば進行を遅らせることもできます。少しでも気になることがあれば病院などに相談をして、隠れ認知症を早めに見つけることが大事だと思います。

「ひとことカード」をご存じですか

市のホームページでは、認知症の人や家族がそれぞれの思いや願いを書いた「ひとことカード」を掲載しています。大和市認知症1万人時代条例の制定時に集まった一人一人の声に触れてみませんか。



認知症の総合相談窓口「認知症灯台」

市は、認知症に関して迷った時の最初の相談先(道しるべ)として総合相談窓口「認知症灯台」を設置しています。ぜひご利用ください。

■ 相談専用ダイヤル……☎(260)5641
月～金曜日午前8時30分～午後5時15分(祝日、年末年始を除く)

認知症講演会を開催します



『認知症世界の歩き方』の著者である寛裕介氏を招き、認知症の人から見えている世界についての解説などを行います。

と き▶9月28日(水)午後2時～3時45分

ところ▶シリウス内メインホール

講 師▶NPO法人イシュープラスデザイン

寛裕介氏

申し込み▶不要。

